

30 血液浄化センター



血液浄化センターは17台の透析ベッドを有しており、入院患者・外来透析患者の血液浄化療法を広く担当している。15名の医師が診療に従事しており、その多くが日本内科学会・日本腎臓学会・日本透析医学会の定めた専門医・指導医の認定資格を有し高度な医療の提供に努めている。メディカルスタッフに関しては、専属の看護師が10名、臨床工学技士が2名配属されており、より多様化する疾患や重篤な症例に対して安全で質の高い血液浄化療法・看護の提供に従事している。

29年度の実績として血液浄化実施総数は6,809件（患者数6,732人）であった。血液濾過透析、ECUM、出張透析、血漿交換、DFPP、血液・血漿吸着、腹水濃縮等の特殊血液浄化総数は1,552件であった。昨年度に比べ、血液浄化実施総数は増加し、特殊血液浄化総数（特に血液濾過透析）の増加が主な要因となった。

※30-1, 2は血液浄化実施総数を示している。30-1は従来通り患者数として表記し、30-2は29年度から件数として表記している。合計の乖離は同一患者に複数の血液浄化療法を同時に実施したことによる。

30-1 年度別透析延患者数 (人)

区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	29年度 構成比率(%)
入院	5,416	5,677	5,208	5,240	5,771	85.7
外来	906	895	927	991	961	14.3
合計	6,322	6,572	6,135	6,231	6,732	100.0

30-2 年度別透析導入患者数 (人) ※(件)

区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	29年度 構成比率(%)
定時透析	6,118	6,364	5,870	6,006	6,352	93.3
緊急透析	204	208	265	225	457	6.7
(うち導入)	(79)	(80)	(87)	(69)	(57)	(0.8)
合計	6,322	6,572	6,135	6,231	6,809	100.0

30-3 年度別特殊透析延患者数 (人)

区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	29年度 構成比率(%)
血液濾過透析	379	582	503	97	898	57.9
(うち緊急)	(2)	(6)	(8)		(3)	(0.2)
血漿交換	63	115	144	131	214	13.8
(うち緊急)	(11)	(21)	(34)	(37)	(108)	(7.0)
二重濾過 血漿交換	22	60	41	49	32	2.1
(うち緊急)		(3)	(2)	(3)		
腹水濃縮	7	14	23	19	19	1.2
(うち緊急)	(4)	(1)	(7)	(7)	(5)	(0.3)
血液吸着	108	91	94	88	2	0.1
(うち緊急)		(3)	(4)	(5)	(2)	(0.1)
血漿吸着	149	161	138	57	74	4.8
(うち緊急)	(2)	(6)	(6)	(1)	(2)	(0.1)
出張透析	158	328	304	215	165	10.6
(うち緊急)	(24)	(35)	(49)	(34)	(72)	(4.6)
ECUM	172	179	216	226	148	9.5
(うち緊急)	(15)	(8)	(25)	(21)	(55)	(3.5)
合計	1,058	1,530	1,463	882	1,552	100.0
(緊急合計)	(58)	(83)	(135)	(108)	(247)	(15.9)

30-4 年度別腎臓病教室出席患者・家族数

(人)

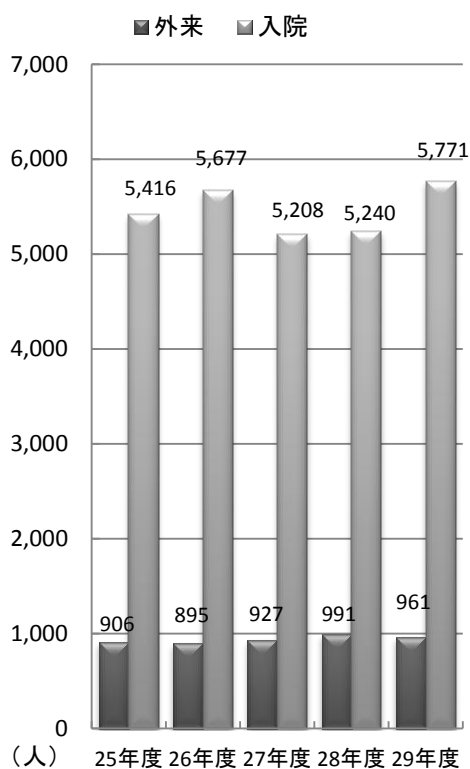
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	29年度 構成比率(%)
実患者数	51	41	28	46	45	77.6
実家族数	24	20	22	16	13	22.4
合計	75	61	50	62	58	100.0
延患者数	158	102	97	163	134	81.7
延家族数	40	36	42	46	30	18.3
合計	198	138	139	209	164	100.0

30-5 年度別腹膜透析患者数

(人)

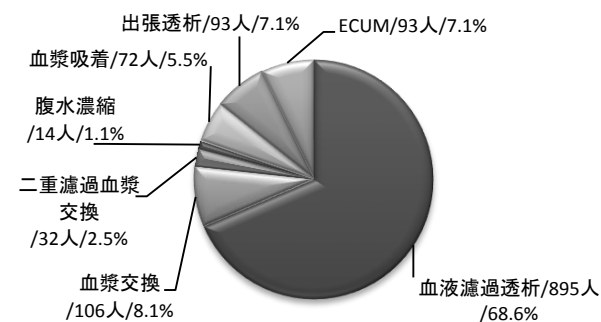
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	29年度 構成比率(%)
導入	4	4	4	3	2	1.6
外来	152	188	184	157	120	98.4
合計	156	192	188	160	122	100.0

30-6 透析延患者数の年度別推移



30-7 29年度特殊透析延患者数の構成比率

● 予定：1,305人



● 緊急：247人

